

このまちを作っているのはおばあちゃん

～みかん農家杉浦さんのお仕事～



みかんはいつからやっとするのかね。始めたのは大じいさんだもんね。22でお嫁に来たもんで、60年はたつかねえ。ここに来たときにもう30年以上の木もあったでね。100年くらい続いとるのかね。

今は大きい畑はよその人をお願いしちゃっとするもんで、小さい畑だけだね。

こうやってね、実をとってくだよ。このままにしとくと、小さい実ばかりになっちゃうもんでね。

ようけやっすると手が痛くなっちゃうけどね。はさみなんか使っとったら時間がかかっちゃうもんで、やっぱり手でとってくだよ





ここはみかんの寝床。今は使っていないもんで、らんごくになっとるけどね。

とってきたばかりは酸っぱいもんね、昔はここで甘くなるまで置いとくだよ。下から順番に入れてって、いっぱいになったら次に入れて、どんどんどんどん入れてくだけど、上の方になると届かんもんでね。台に乗ってやるだけど、まあえらいだわ。



これは、びくって言ってね。おじいさんが編んだだよ。まだ残っとただね。今は箱があるけどね、昔はなんでも作っとただで。

見たことある？ないだらあね。木の棒の両方にね、出っ張りがあって、そこに紐ひっかけてみかん運ぶだよ。

そりゃあ重たいよ。でももうおじいさんもおらんで編める人おらんだらうね。





これが選果台。この中にみかん入れてね、大きさとかが傷がないとかチェックするだよ。この穴通るかどうかでわかるだよ。うちには機械がないもんね。小さいのと大きいのは農協さん持ってっても売れんでね。



これは山に行くときの7つ道具だね。なたに鎌に草かきにこうやって腰にカゴつけて歩いてくだよ。両手が使えるようにしんとかんでね。

なんでも腰にまく。そうやってみんな山ん中歩いてかんと。車じゃ行けんところもあるでね。





これは私が作っただよ。みかんばたに行くときはこれつけてかんと、仕事にならんでね。ようけ使っとるでボロボロになってきちゃったね。

この袋んとこ？落ちとるゴミ入れたり、傷もんでもおいしそうなやつはカゴに入れると腐っちゃうもんで、こっそりここに入れといてね。うちに帰って食べるだよ。おやつ入れたね。



はさみでいらん枝切ったりね、痛んだ実とったりね。大きい枝のときはね、こっちののこぎり使ってね。高いところの枝もやるよ。脚立に乗ってね。まあ、もうおばちゃんだでね、あんまり無茶して落ちちゃいかんで。



これは田んぼの道具だね。昔は田んぼもやっただね。そのころの道具はらんごくにしまっておるだよ、もう使わんもんでね。いらなくなった道具は草ん中にほかっくとね、木のそこだけが腐ってくで。

こんな道具見たことある？ないだらあね。農家の子じゃなくや知らんと思うよ。道具の名前？なんていうのかね、よくわからんけど使えとるでいいだよ。

田んぼの土ならすのとか、木切ったり根っこほるのとかね。お米はねえ家で食べるのには十二分に作っただだよ。十分じゃなくて十二分にだでね。昔はいっぱい作っただだよ。でも田んぼがちっちゃいもんでね、機械じゃやれんようなどこだもんで大変だったよ。もう今はやったらんけどね。



これは稲植えるときに使うやつでね、きれいに植えられるだよ。田んぼじゃなくても畑でも使えるでね。

でも私は使ってないけどね。こんなの無くては植えられるようになるだよ。

実家も農家しとったもんね。別にしんどいと思ったことはないね。

昔はお蚕さんも飼っとっただよ。ここも繊維の町だったもんね。織屋さんがいっぱいあったよ。今はもうほとんど無くなっちゃったけどね。

10年くらい前までは温室もやっとなけど、えらいでもうやめちゃったわ。夏に温室の中だよね。朝と夕方しかやれんし、汗が滝みたいにでてくるだよ。儲かるときにやらせてもらったよね。

みんな年とってきとるでね、どんどんやめてっちゃうわ。おじいさんがおらんくなって、うちも息子に手伝ってもらわんとやれんでね。息子のおる日曜日しかいろいろ出来んよ。農家の子は平日働いて日曜日には畑だでしんどいね。

私もあと何年やれるかわからんけど、おじいさんたちの畑守らんといかんと思ってね。がんばっとるだよ。



話を聞きに行った日、午前中は畑の消毒をしてきたそうだ。暑い中消毒の機械を持って畑の中を移動するのは、かなりの重労働。それでも「もう慣れとるよ」と笑顔で話す杉浦さん。

現在82歳の杉浦さんはみかんの木の手入れと家の近くの畑で野菜を作って毎日を過ごしている。仕事をしている息子さんには土日だけ手伝ってもらっているという。収穫時期の忙しい時はお孫さんも手伝って家族総出の作業だ。

「山ん中のはもうやれんで、全部きっちゃっただよ。ここもいつまでやれるかね」みかんの実をつみながら杉浦さんは言った。

おばあちゃんたちに支えられている蒲郡市の農業。少子高齢化という何だかとても悪いことに聞こえるが、蒲郡市を支えているのは間違いなく高齢者の力だ。

みかんは好きですか？と聞くと「そりゃ好きだよ」と答えてくれた杉浦さん。

このまちの色は？この質問に「オレンジ色」と答える人はどのくらいいるだろう。その「オレンジ色」は、おばあちゃんたちの毎日で作られている。

